



2024年2月10日・小倉 初勝利のウイナーズサークル

小島友実の あの馬の STORY



モンディーン

西園翔太厩舎に所属し、活躍中のモンディーン。1歳馬募集時のインタビューで「歩みが軽しい、芝でスピードを活かす馬になりそうです。ね」と西園調教師が評価していたのを覚えています。その期待に応えて、デビュー4戦目となった小倉芝1800mで初勝利をマーク。今回はこのモンディーンについて、西園翔太調教師に色々お話を伺いました。

モンディーンは昨年10月9日の京都芝1400m戦でデビューし、13着でした。

「一度、1400m戦でこれくらい走れるかを見かけたのと、1400mくらいのスピードに慣れさせた方が距離を伸ばした際にやりやすいのかなと考え、あの条件でデビューしました。ただ結果として、1400mは少し忙しい印象でした。ね。だから2戦目は距離を伸ばしてみました」

2戦目となった10月29日東京芝2000m戦では、着順を上げました。

「思っていた通り、良い位置で競馬ができました。レース後、松山弘平騎手が平坦の1800mくらいが良かったので話していたので、3戦目は1月20日の小倉の芝1800m戦に向かいたなです」

3戦目は休み明けの1戦。西園調教師は手応えを感じていたそうです。

「放牧から戻ってきた後、調教ですごく良い時計が出るものになったから、もう善戦できると思っていました。血統的に道悪をこなせるはずだし、今でも3戦目の敗因ははつきりわかりません。着ていく結果がすごく悔しかったので、もう一度、同じ舞台に行きたい」

前述の通り、その4戦目となった2月

10日の小倉戦で初勝利を手にしました。

「3戦目の小倉戦はもしかしたら、コーナーをタイトに回ってきたから、馬が走りこんだのかな、と思います。だからレース前に西塚光一騎手には、「コーナーをゆつたり回してほしい」と伝えました。西塚騎手はその通りに乗ってくれて、直線では馬場の真ん中から伸びてきました。決して楽なレースではなかった中で最後までしっかり走りこんでくれたので、力があるなと感じましたね」

2023年に開業した西園翔太厩舎として、グリーンファームの馬を預かるのはモンディーンが初めて。その馬での勝利はやはり特別な思い出があります。

「グリーンファームさんには、私が父の西園正都厩舎にいた頃からお世話になっているので、結果を出したいと思っていたんです。馬にいい勝負、勝たないことはその後大きな差が出てくるので、本当に良かったと思います」

西園翔太厩舎の言葉は、定年により引退された加用正調教師が管理していたフイト、フエイクを引き継ぎ、見事にラストランを勝利に導いた事も印象的でした。

「転厩のお話を頂いたのはモンディーンが勝った後でした。信頼を頂けたのかなと感じましたから、引退レースになった1戦しか勝負できない中で着を取ったのです。嬉しかったです。そして最後まで頑張ってくれたフイト、フエイクにも本当に頭が下がります」

西園翔太調教師がこれまで管理したグリーンファームの馬は、頭とも勝利したのですから、グリーンファームさんとは相

性が良いのかなと感じています」と翔太師。お父さんの西園正都厩舎とグリーンファームの相性も良いですね。今後注目したいと思えます。

西園翔太調教師に改めて、モンディーンの手での印象を伺いました。

「レースに対して前向きな1生懸命走る姿が長所です。あのほのまほ小柄だが連続して出走して、この4500mくらいまで大きな力を出している。幸い、飼料は普通に食べますから、このタイプでももう一回くらい大きな馬だと思えます」

ちなみに、普段のモンディーンは「大人しい、乗りやすい」、他馬の先導ができるようなタイプ。競走馬として優等生です。さすが社会ファームさんの生産、育成馬だなと感じています。牝馬ですが、性別が良いのはいまありません。

最後に、今後の展望を伺いました。

「5戦目は前回勝った1800m戦を再度走りたいと考えてから4月20日のあやめ賞(京都芝1800m)に向かいます。まだまだ上を目指せる馬。厩舎一丸となって調整していきますので、今後よろしくお願ひいたします。将来的にお母さんになる事を考えると、もう1つお母さんになってあげたいです。そこでこの子供を預けて頂いて、厩舎縁の血統になつてくれたら嬉しいですね」

西園調教師にお話を伺ったさい、その馬の「馬生」もよく覚えて頂いている事が伝わってきます。モンディーンのこれからが本気で楽しみです。

(電話取材) 2024年4月3日

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます(主婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。